



# 南極観測隊経験者に インタビュー



38次・39次・49次・57次夏隊

ほかだ とも かず  
**外田智干さん**

国立極地研究所 地圏研究グループ准教授

(2016年7月現在)



**南極では、どんな研究やお仕事をしたのですか？**

南極大陸の岩や石を調べています。南極大陸の氷の下の岩盤は、非常に古い時代の大陸の地下深くの石からできています。そうした岩石を調べることで、南極大陸や地球の古い歴史、また、大陸地殻を構成している物質の成り立ちを研究しています。南極ではずっと野外キャンプでテント生活をして、毎日朝から晩まで地図とコンパスとハンマーを持って歩き回っています。



**初めて南極におり立ったときの感想をおしえてください。**

ただただ感動しました。本当に来たんだ、と。



**一番印象に残ったこと・一番楽しかったことはなんですか？**

私は石を調べることを目的として南極大陸に行きました。やはり、新しい発見や見たことのないような石に出会えることが、南極で一番楽しかったことです。それに加えて、南極の自然や景色、また南極で何週間～何ヶ月も野外で一緒に生活する仲間達との交流もかけがえのない経験です。